

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こども園にじ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月13日		～	令和7年3月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年3月24日		～	令和7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもとご家族が安心して通い、ご家族が安心して話ができる環境を設定することで、保護者との連携を大切にしています。	連絡帳でのやり取りや、送迎時に保護者の方と直接話をする機会を設定することで、随時保護者の方とお子さまの様子や保育所や幼稚園での様子を聞くことができます。又保護者の方の気持ちや、ご家族のことにも気かけ相談しやすい場を設けています。また、随時面談や電話などでの相談も行っています。	保護者の方との話から情報共有をし、関係機関との連携をスムーズにしています。今後も園訪問を行うとともに、幼稚園や保育所への移行支援へと繋げていきたいと思っています。利用児だけでなく、兄弟への相談などにもつなげ、家族全体への支援ができるといいと考えています。
2	様々な活動プログラムを設定し取り組んでいます。	月ごとに5領域に沿って活動プログラムを立てています。室内での活動だけでなく、散歩や公園で遊んだり、図書館などの公共の施設の利用や公共の交通機関を体験する等、社会的資源の活用を活動プログラムにも取り入れています。	散歩や行事の参加などを通して同法人の施設との交流や、地域の方との交流へと繋げていきたいと思っています。プログラムの作成に専門職が関わることで、更により日々の活動で専門分野の知識や技術が活かせるプログラムになると考えています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置基準が国の基準は満たしていますが、十分な配置とはいえないところがあります。	送迎を行っていないため、定期的な登園が難しいお子さんへの支援が必要と感じています。 専門職が専門分野の知識や技術を活動プログラムや支援に悩んだ時にアドバイスを頂きたいと思っています。	必要な送迎により、定期的な登園が難しいお子さんの登園が可能になり、誰もが安心して通園し支援を受けることができます。 専門職の職員配置により、職員のスキルアップや、より良い支援に繋がると考えています。 職員が外部への研修等に参加することで、職員の意欲を高め技術の向上につながると、考えています。 地域の方の支援等もお願いできるよう交流を広げていきたいと思っています。
2			
3			

事業所名	こども園にじ
------	--------

7年 4

公表日 月 1 4

年 月

利用児童数 日 回収数 10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		1		活動プログラムの中で設定はしていませんが、公園に行った際に近くの幼稚園園児と一緒に遊ぶ機会があります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					

保 護 者 へ の 説 明 等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10			とても助かっています。	連絡帳でのやり取りや、送迎時に保護者の方と直接お話が出来る機会を作っています。その日の活動の様子だけでなく幼稚園や保育園での様子などにも保護者の方と共通理解を持ってお話しさせていただいてお
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1			定期的な面談だけでなく、随時お話が出来るよう対応してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		1	あるといいと思います。いろいろなお話が出来る場を通して保護者の方同士がつながる場を作っていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1			送迎時などの時間の中で不十分な場合は、面談や電話で対応させていただきます。お気軽にご連絡ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	2		1	毎月のお便りなど、今まで紙面にてお知らせさせていただいておりました。今後はホームページ等を使って情報等を発信していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1			毎月避難訓練（火災・地震・洪水）を行っております。説明等につきましては、丁寧に説明を行っていききたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10				幼稚園には 行きたがらないのですが、にじさんには行き たがりま	お子さまや保護者の皆様に安心してご 利用していただけるよう、皆様からの ご意見を頂きながら、努力して参りた いと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

こども園にじ

公表日

令和7 年 4月

14 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			国の定める設定基準に従い、スペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			国の定める配置基準の配置をしています。活動の内容や、1対1の対応が必要な場合にはもう少し職員の配置が必要かと思ひます。専門職が配置できると支援の幅や必要な支援、職員のスキルアップにつながると思ひます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		門から部屋への入り口はスロープになっています。トイレに手すりがついている等バリアフリーに配慮したつくりになっています。	入室から朝の支度の導線や、仕切りを作る等の構造化を行い、子どもたちが生活しやすい環境を整えていきたいと思ひます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		壁にはスケジュールボード等必要な視覚的支援と、窓にはカーテン等をかけて刺激が入らないように配慮しています。	建物全体が古い為、その都度修理を行っています。衛生面や安全面に配慮し、定期的な点検を行い子どもたちが心地よく過ごせる環境を作っていきたいと思ひます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を個別支援や発達に合わせたグループ支援に使用することがあります。	子ども用の椅子や机をセットしています。相談室内のトイレを使えるように検討しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員からの声を大切に改善を図っています。	職員が意見を言いやすい環境を作り、改善に向けて、情報交換をしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		連絡帳や面談での保護者からの意向等を職員間で情報共有し、話し合いを行い支援に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の打ち合わせや常時会話の中から、課題や問題を明確にし、情報の共有化、意識の向上に繋げていきます。	毎日の打ち合わせや常時会話の中から、課題や問題を明確にし、情報の共有化、意識向上に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在のところ、第三者による外部評価は ongoing でありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修は職員全員に回覧し、希望の研修にはできるだけ参加できるように、職員配置を行っています。	職員全体のスキルアップのために、色々な研修に参加できるようにしていきたいと思ひます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムをホームページに公表しました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日頃の様子やご家族との面談等を行うことで、子どもと保護者のニーズや課題の把握に努めています。	子どもの発達の状況や子どもと保護者のニーズに沿った支援計画を提案していきます。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に係る職員からの情報や記録を共有し、課題や問題を確認しながら作成します。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援終了後に職員間で振り返りをしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の様子は連絡帳や個人記録に記録しています。	にじ用のアセスメントツールを用いて支援計画の作成に繋げていますが、内容の見直しも検討しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づいた、5 領域、家族支援等、お子さまやご家族の意向に合わせて支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		常勤職員が立案し、児発管と支援内容を確認しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5 領域を意識してプログラムを立てています。製作では季節を感じられる物を取り入れたり、個々の支援の目標に合わせて課題を立てています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の特性に応じ、個別活動・集団活動を取り入れた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、職員で打ち合わせをしています。一日の流れや支援内容、役割分担を確認し、情報共有をしています。非常勤職員は打ち合わせノートを確認するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、職員間で振り返り、気が付いたことや保護者からの話などはすぐに報告し合い、情報の共有と改善を行っています。	職員全員が振り返りの時間を一斉に取ることは難しいですが、支援終了後の片付け等ちょっとした時間等を活用して情報の共有をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後に毎日個人記録を記入し、支援方法の検証と、改善に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6ヶ月に1度のモニタリングを行い、子どもと保護者のニーズや課題を確認し、支援の目標等を見直し、計画を作成しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		幼稚園や保育所のカンファレンスに、担当職員と児発管で参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			各関係機関と協力、連携を取り合い、より良い支援へ繋げて行けるようにします。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からのご希望を踏まえ、幼稚園や保育園、にじでの様子を情報共有し、移行に向けてどのような支援が必要か定期的に連絡をしています。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からのご希望に応じて対応させていただいています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		同法人内のセンターで行う研修や行事へのお知らせを頂いています。子どもやご家族についての情報共有を相談員さんで行っています。	研修に参加したり、専門職の職員からのアドバイスを頂くなど、センターとの連携を図り、より良い支援に繋げていきたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	保育所や幼稚園との併行通園をされているお子様が多いので、活動プログラムには設定していませんが、地域の公園で遊ぶ際に近くの幼稚園の園児さんと、遊ぶことがあります。	地域で行われている行事等の情報を収集し、参加への検討をしていきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳でのやりとりや送迎時にその日の様子や相談に応えるなどして伝え合い、共通理解を持つ機会を設けています。	送迎時にお伝え出来ない時などは、電話でお伝えしたり、共有できる機会を設けます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	同法人内のセンターが主催の研修等のご案内をしています。	保護者の要望に応じた企画と一緒に勉強できる機会を検討していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の時に重要事項説明書を用いて説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時の面談などで、保護者の意向を伺っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者に支援の内容を説明し、確認して頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者から要望があった場合は、個別で面談の機会を設けています。また随時電話での相談も受けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者の方同士が交流できる場を考えております。保護者の方から意見を頂きながら必要な情報など、共有できる場を通して保護者の方同士がつながる場を作っていきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望や相談があった場合は即時に情報共有し、必要に応じた対応に努めています。	

非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の圖だよりで、予定やお知らせ、活動の様子等を載せて配布しています。給食の献立も毎月配布しています。	個人情報保護に関して留意しながらホームページへの発信も検討していきたいと思います。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員間で個人情報についての厳守の徹底をしています。				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の特性や発達に合わせて、声掛けの工夫やサイン、ジェスチャーを使ったり、視覚的支援教材を使っています。				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		散歩や園外での活動の際に、地域の方ににじのことを知ってもらう等、少しずつ検討していきたいと思います。			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時に対応について説明を行っています。法人研修として、応急救命対応の講習を職員が受けました。				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月避難訓練（火災・地震・水害）を行っています。事業所内だけでなく、広域避難場所まで移動する機会も設定しています。				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時の書類への記入など、保護者からの情報を基に職員間で共有し、対応を行っています。必要に応じて、医療機関を訪問し主治医の説明を受ける等連携を図っています。				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの申請を受けて、医師の診断書に基づき対応しています。給食の提供についてはアレルギー除去食依頼書を提出し、業者との連携を図っています。				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○						
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○						
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		所定の用紙に記入し、職員間で共有し事故防止に努めています。				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に職員に不適切保育についてのチェックを行い、対応の振り返りを行うようにしています。				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に該当する場合は支援計画に記載することとしています。				